

科目名称 (Course Title)				担当教員 (Instructor)	
地域経営演習Ⅲ				佐藤 充	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2 単位	2 年次	演習	有 (連絡済)	
授業の概要 (Course Description)					
<p>本演習は、海の京都観光圏をフィールドにして、観光地経営の観点に基づき、魅力的な観光地の形成に関する理論と現状を検討するものである。近年、観光客の到着地となる地域の視点からの観光地経営という考え方が重要になっている。その範囲は幅広く、マーケティング、人材育成、環境整備などといった要素が含まれる。</p> <p>本演習では、観光学や観光地経営に関する基礎的な文献を講読した上で、統計資料の収集や訪問調査を行い、海の京都観光圏における観光の現状と課題を調査・分析する。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<p>① 学術的な文献を収集し、その内容を整理することができる。</p> <p>② 社会調査の基本的な事項を理解し、調査の技法を用いることができる。</p> <p>③ 調査から発見した事実に基づいて、事象の現状と問題点を分析することができる。</p>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	イントロダクション				
第 2 回	社会調査の技法 (1)				
第 3 回	文献購読 (1)				
第 4 回	文献購読 (2)				
第 5 回	現地視察 (海の京都観光圏)				
第 6 回	現地視察 (海の京都観光圏)				
第 7 回	文献購読 (3)				
第 8 回	文献購読 (4)				
第 9 回	社会調査の技法 (2)				
第 10 回	社会調査の技法 (3)				
第 11 回	文献購読 (5)				
第 12 回	文献購読 (6)				
第 13 回	訪問調査 (海の京都観光圏)				
第 14 回	訪問調査 (海の京都観光圏)				
第 15 回	まとめ				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>① 演習内で小課題を提示する。</p> <p>② 調査準備などの作業が必要になるときがある。</p> <p>③ ニュースや新聞記事などに目を通し、観光に関する時事問題について情報を収集する。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)		
評価方法	(割合)	評価基準
小課題 クラス貢献度 課題レポート	(20%) (30%) (50%)	秀：主体的に取り組み、事象の問題点や解決策を論理的かつ客観的に提示できる。 優：主体的に取り組み、事象の現状や問題点を論理的かつ客観的に提示できる。 良：主体的に取り組み、事象の現状や問題点について、ある程度説明できる。 可：主体的に取り組み、事象の現状や問題点について最低限の説明ができる。 不可：フィールドワークに取り組まない、もしくは事象の現状や問題点をほとんど説明できない。
テキスト (Textbook)		【書名】 【著者】 【出版社】 【出版年】 ※特になし。必要に応じて、資料やレジュメを配布する。
参考書・資料等 (Supplementary Reading)		適宜、指示する。
備考 (Other Information)		受講生には、毎回の出席と演習時での積極的な発言を求めます。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)		初回演習時に連絡先及び連絡方法を示す。